

ピロキロン粒剤 コラトップ粒剤 5	取扱メーカー： クミカ、シンジェンタ 原体メーカー： シンジェンタ
成分： ピロキロン……………5.0%	性状： 類白色細粒 毒性： 普通物 消除法： ——

【品目特性】 ……………

- 施用後速やかに根から稲体に吸収，浸透移行があり，速効的で残効が長い。
- いもち病菌胞子形成阻止と共に胞子の病原力を低下させる強い作用を持っている。
- 葉いもち，穂いもちの両方に安定した高い効果がある。
- 施用期間の幅が広い。
- 他剤の耐性菌にも安定した高い防除効果がある。
- 速効性に優れているので，葉いもちでは初発時施用でも安定した高い効果を示す。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】 ……………

- 多発が予想される葉いもちには，初発10日前位の使用がより防除効果を高める。

- 東北，北陸など，葉いもち，穂いもちの発生が近接している北日本型いもちでは，葉いもち時期処理で穂いもちまでの防除ができる。
- 西日本の平坦地など後期穂いもち発生地帯では，出穂5日前近くに使用すれば秋雨などで多発する枝梗いもちにも効果がある。
- 湛水状態の水田に手まき，又は散粒器などで，ムラなく散布する。

【薬効・薬害等の注意】 ……………

- 箱育苗処理は薬害のおそれがあるので使用しない。
- もみ枯細菌病に対しては効果が劣る場合があるので，本病を主体とした防除には使用せず，穂いもちとの同時防除として使用する。

【安全対策上の注意】 ……………

- 魚類に影響を及ぼすので，使用時は注意。

【適用と使用法】 ……………

作物名	適用病害名	10 a 当り 使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	ピロキロンを含む 農薬の総使用回数
稲	いもち病	3～4 kg	葉いもちに対しては 初発10日前～初発時 穂いもちに対しては 出穂30日前～5日前まで	2回以内	散布	3回以内 (直播での場合は種時又は移植時までの 処理は1回以内， 本田では2回以内)
	もみ枯細菌病	4 kg	出穂30日前～5日前まで			